



利休忌 にちなみ

【お茶湯】

【茶カフキ】

【回り花】

【花月】



回り花



茶カフキ



掛物 力囲希

- 【掛物】 利休像 而妙齋 「力囲希」
- 【花入】 唐銅 伝来写し 「菜の花」
- 【香合】 染付 隅田川
- 【炭斗】 油竹 利休好
- 【釜】 筋平丸 敬典
- 【棚】 かき合わせ 席主 鱗鶴画
- 【水指】 桐 四方棚
- 【茶人】 瀬戸 一重口
- 仕服 利休丸壺写し
- 【茶碗】 緑地間道
- 替 黒 一楽作
- 引舟 醍醐の桜絵 京焼
- 萬古焼 宗心宗匠



茶碗 黒



茶碗 醍醐の桜絵



茶碗 引舟



茶入 利休丸壺



棚 四方棚



香合 隅田川



花入 唐銅

- 【茶杓】 「静寂」 誠堂老師
- 【薄茶器】 利休写 黒中棗
- 建水 信楽 大脇差写し
- 蓋置 墨台 染付
- 【菓子器】 根来 一文字喰籠
- 【干菓子器】 真塗り 四方盆
- 菓子 「春菊」「春の山」「浅路館」「八重霞」「おぼろ饅頭」 たらや製
- 干菓子 ひな菓子 「梅」「水」「源氏物語」「旅枕」
- 濃茶 葉茶 猶有齋好 「楽寿の昔」 柳桜園
- 薄茶 猶有齋好 「清友の白」 柳桜園



茶杓 静寂



薄茶器 蓋置

【お茶湯】

お茶湯とは、供茶とは、献茶とは、奠茶とは、(天目茶碗のあつかい)

【茶カフキ】

五服均等に点てる難しさ

上林 楽寿の昔 柳桜園
竹田 浮舟 柳桜園
客 松韻の昔 一保堂
大の折居のあつかい方



看板



両紙

【回り花】

竹三重切りを使って
二順目、三順目での作法
亭主の仕舞い用

【花月】

初花での花月
振り花での花月